



すぐそこに

原発が……

安全な原発はない。
いまこそ止めて
なくそう！

福井県の若狭湾沿岸は、関西電力などによる原子力発電所が14基稼働。全国で稼働している原発(54基)の26%が集中し「原発銀座」と呼ばれています。

3月11日の「東日本大震災」は、巨大地震と大津波、さらに福島第一原発事故という、未曾有の災害となりました。未だに原発事故の収束のめどがたたず、放射能汚染が復旧の最大の妨げとなっています。

日本は地震とむきあっている国です。原発の「安全神話」は完全に崩壊しました。多くの原発が運転開始から30年以上経過し、老朽化しています。原発が生み出す大量の「死の灰」も処理できません。

「若狭原発地帯」と隣り合わせの京都。30km圏が住めなくなると言えば、京丹波町や南丹市以北はもちろんのこと、京都市域のすぐ北側まで…。「近畿の水がめ・琵琶湖」の放射能汚染をおこしたら、飲み水の水源が…。

いまこそ、若狭湾沿岸の「原発を止めてなくそう」「自然エネルギーへ変えよう」の声を大きくあげましょう。

危険なプルトニウムと使用済みウランを混ぜてリサイクル使用する「プルサーマル発電」は、高浜原発ですでに運転中、大飯原発や敦賀原発でも予定中です。

裏面は「福井県の原発をなくすことを求める署名」です。
署名にご協力を。



京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラポール京都 5階
TEL: 075-801-2308
e-mail: sohyo@labor.or.jp



福井県の原発をなくすことを求める要請署名

関西電力株式会社
社長 八木 誠 様

【要請主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を、事実をもって明らかにしました。

原発は、いかなる「対策」を講じても、危険性を解決することはできません。原発はばく大な放射性物質をかかえています、それをどんな事態が起きても閉じ込めておく完全な技術ありません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は、深刻で広範囲におよび、将来にわたっても重大な影響を及ぼします。いまこそ原発からの撤退が求められています。

そうした原発を、地震列島に集中立地すること自体が危険ですが、とくに、福井県若狭湾沿岸の原発は、活断層のすぐ近くにあるという、世界にも例のない危険な地域に立地しています。

また、福島原発よりも古い美浜原発など、老朽化した施設が圧倒的で、いかに部品交換しようとも、炉本体の劣化はすでに当初の耐用年数を超えています。今回の福島原発事故を見ても、老朽化した原発の即時停止・廃炉は、急がなければなりません。

さらに、福井県の原発は、隣に「近畿1300万人の命の水源地」琵琶湖をかかえ、いったん事故が発生したときの影響は、近畿全体に及ぶことは明らかで、計り知れません。停止した原発の再開や老朽化した原発の運用継続、原発推進を表明することは、断じて認められません。

以上をふまえて、私たちは、福井県若狭湾沿岸の原発の停止・廃炉を求めます。

【要請項目】

1. 福井県若狭湾沿岸の原子力発電所を、老朽化した原発から、すべて停止・廃炉すること。
2. 危険なプルトニウムを燃料とするプルサーマル発電をただちに中止すること。
3. 現在停止している原発の再開、および、新增設をやめること。

氏 名	住 所